

ロータリー情報 I

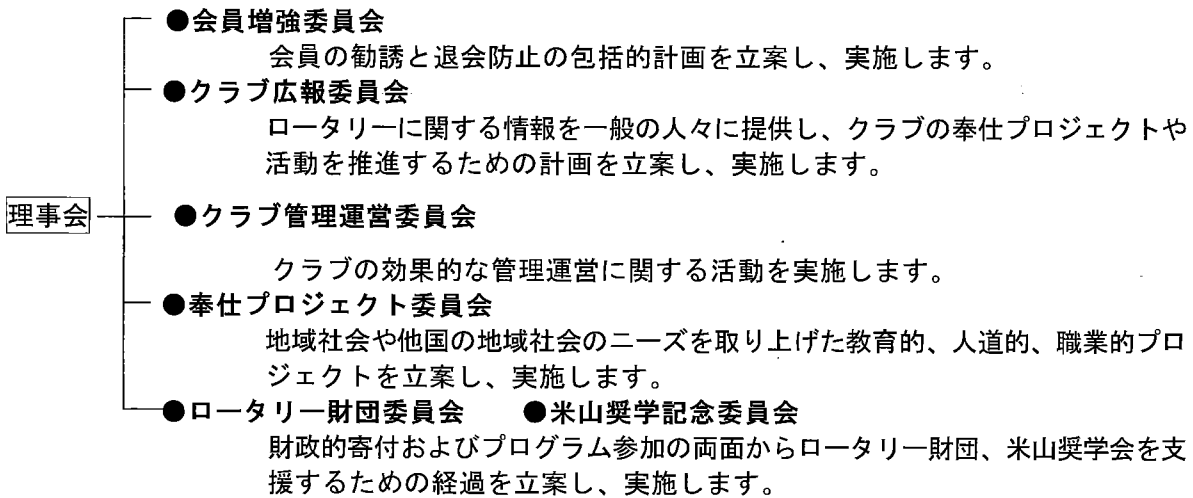
クラブ・リーダーシップ・プラン (C. L. P) について

ロータリー情報委員長 西口雅彦
(藤沢北西 RC)

2006年に実施されたRI会員データの調査によると、多くの地区ではクラブ数が増える一方で会員数が減少する現象が起きています。全クラブの22%は会員数が20名未満、4%は11名未満です。その結果、ガバナーの仕事量は増加し激務になり、一方クラブは会員数が減ると従来の「推奨ロータリークラブ細則」そのまま適用した場合、一会員が複数の委員会を掛け持ちして所属することになり、委員会活動が低調になるとして、委員会構成を見直す必要性が出てきました。

- ◇ ガバナーの仕事量の分散化 → D.L.P (地区・リーダーシップ・プラン)
* ガバナー補佐制度 * 地区研修リーダー * 各種地区委員会
- ◇ クラブの委員会の簡素化 → C.L.P (クラブ・リーダーシップ・プラン)

新しくRI理事会で承認された「推奨ロータリークラブ細則」では、クラブ委員会構成はこれまでの18委員会から5委員会に縮小され、会長エレクト・会長・直前会長が協力して常任委員会を決めます。



☆必要な場合は、このほかの委員会を任命することもできます。継続性を図るため、できたら委員の任期は3年とします。これによって、どんな小さなクラブでも、この5つの常任委員会を設置すれば、クラブ運営は可能となります。

☆そして、C.L.Pの目的は効果的なクラブを維持していくためであり、それには

1. 会員基盤を維持、増大すること。
2. 地元地域社会並びに他国の地域社会のニーズを取り組むプロジェクトを実施成功させること。
3. 資金の寄付及びプログラムの参加を通じてロータリー財団を支援する。
4. クラブの枠を超えてロータリーにおいて奉仕できる指導者を育てることです。

なお、クラブは、プランの実施を奨励されていますが、義務づけられているわけではありません。各クラブが独自に選んだ方法で、取り組むことができます。